

今年(令和8年)4月から 開始予定!

RSウイルス母子免疫ワクチン

予防接種法に基づく公費(無料)での予防接種

定期接種のお知らせ



どんな予防接種?



- 生後間もない赤ちゃんや小さなお子さんをRSウイルス感染症から守るために、**妊娠中に受ける予防接種(母子免疫ワクチン)**です。

母子免疫ってなに?



- 妊娠中にワクチンを接種することで、お腹の赤ちゃんに「ウイルスと戦う力(抗体)」をプレゼントすることです。生まれた直後の、まだ自分ではワクチンを打てない赤ちゃんを病気から守ります。

対象

- 令和8年4月1日以降、接種を受けるときに
妊娠28週0日目から36週6日目までの方



RSウイルス感染症ってどんな病気?



- RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも一度は感染するとされています。
- 年齢を問わず何度も感染しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれていて、特に生後6か月以内に感染した場合には細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

- ・潜伏期間は、2~8日
- ・発熱、鼻汁、咳などの上気道炎症症状が数日続きその後、気管支炎や肺炎などの下気道症状が出てくることがあります。
- ・初感染の乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが約3割では咳が悪化し、喘鳴(ゼーゼーと呼吸しにくくなること)や呼吸困難、さらに気管支炎の症状が増加します。
- ・重篤な合併症として、1歳以下で中耳炎の合併症がよくみられる他、無呼吸発作、急性脳症等があります。

接種方法など詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせいたしますので、随時ご確認ください。